

コミセンだより

令和5年 (2023) 11月20日発行 No.106

# たき



多伎地域の人口及び世帯数(10月末現在)

世帯数	1,308世帯	± 0	前年同月比	△ 1
人口	3,159人	△ 5	前年同月比	△ 51
男	1,530人	△ 4	前年同月比	△ 27
女	1,629人	△ 1	前年同月比	△ 24

多伎コミュニティセンター

〒699-0903 出雲市多伎町小田73

TEL (0853) 86-2853 FAX (0853) 86-2854

E-mail:taki-cc@local.city.izumo.shimane.jp

HP公開中 [多伎コミュニティセンター](#)



総括目標

出あい ふれあい 心豊かで活力あるまちづくり

## 令和5年度多伎町文化祭を開催しました

11月3日(金・祝)・4日(土)・5日(日)



協賛イベント



音楽祭



オープニングセレモニー

神楽共演会



お化け屋敷



令和5年度多伎町文化祭を開催しました。4年ぶりに音楽祭や神楽保存会共演会、協賛イベントの物販も行われました。3日間とも好天に恵まれ、昨年を上回る来場者となり、音楽祭には立ち見の観客も出るほどでした。神楽保存会共演会は、子どもさんの舞を中心に上演され、多くの家族連れや神楽ファンの方が鑑賞されました。2日間開催された屋外の物販も、多伎小6年生の多伎焼きタッキーズ(お好み焼)、餅つきの実演販売、トラック市野菜販売などの店に多くの行列が出来、大変賑わいました。作品展示は、こども園、小・中学校、児童クラブの作品、文化協会加盟団体の作品、個人作品など工夫を凝らした多くの展示品が飾られました。そして、この文化祭初日の目玉となった多伎小6年生のお化け屋敷には、長蛇の列が出来ました。3日間の開催でしたが最終日も予想以上に来場され、延べ約1,300名の来場者でした。

今年度の文化祭も多くの方のご協力で開催することが出来ました。来年も地域の皆様のお力を借り、開催したいと考えております。ありがとうございました。





## 多伎地域自治協会連合会役員表彰について

11月1日(水)、「令和5年度出雲市自治会役員感謝状贈呈式」が開催され、長年の自治会役員を務め、令和4年度で退任された15名の方へ、地域振興に功績があったとして飯塚出雲市長から感謝状が贈られました。

その中で、多伎地域自治協会連合会役員からは7名の方が受賞されました。

表彰式では飯塚市長から地域活動が大変厳しい状況の中、地域貢献に尽力されたお礼の言葉とともに、受賞者一人ひとりに感謝状が渡されました。



### 令和5年度 出雲市自治会役員感謝状贈呈式



受賞されたみなさま

感謝状贈呈の後、受賞者を代表して坂根守さんから、自治会役員として地域に役立てればと、地域の声を行政に届け、行政の諸課題を地域で話し合い、地域の活性化や少子高齢化への対応に取り組んできた。災害時の対策本部の立上げや、一番の戸惑いは予測もしなかったコロナ禍の活動についてご苦労話を紹介され、これからも地域の応援団として頑張っていきたい。とあいさつを述べられました。

皆さん長い間本当にありがとうございました。

10/27  
(金)

## 多伎地域の松枯れ拡大について 出雲市へ早急な対応を要望しました



### 内容

道の駅キララ多伎から久村の海岸公園へ通じるキララビーチライン周辺での急速な松枯れの拡大により、海沿いの景観が損なわれ、山陰道全線開通後の多伎インター線からの印象について憂慮しています。また、車両や人が行き来する市道沿線は冬には北西の季節風が吹き荒れ、倒木での怪我や車両への被害が懸念され、防風林の扱いとなっている見晴らしの丘公園周辺も松枯れが拡大しており、コロナ禍の影響から回復しつつある地域観光(振興)への打撃が心配されます。

以上のことから速やかな対応を要望いたします。

### 要望者

多伎地域自治協会連合会

会長(久村地区会長) 柳楽仁司  
副会長(田岐地区会長) 藤原 悟  
副会長(田儀地区会長) 竹下圭介  
出雲市議会議員 本田一勇





# 9月・10月コミセン事業等報告

9月23日(土・祝)

## 海辺の夕日コンサート in 多伎

出演：音楽ユニット en の皆さん

益田から音楽ユニット en の皆さんを迎えてのコンサートでした。フルート・バイオリン・箏・ピアノの組み合わせは珍しくとても魅力的な音色を奏でていました。今回はファミリー席を設けるなど工夫して子どもから大人まで楽しんでいただけのコンサートになりました。



〈まちづくり部事業〉

9月26日(火)

## コミセン大学 第3回講座視察研修 (三隅火力発電所見学)



コミセン大学で三隅火力発電所を視察しました。作業現場の臨場感が伝わるバーチャル体験とボイラトップの見学は、とても迫力がありました。

構内は暑く、ボイラトップ屋上からは風光明媚な景色が広がっていました。30名の参加でとても有意義な視察研修となりました。



〈いきいき健康福祉部事業〉

10月8日(日) 多伎町ふれあい広場

## 多伎町スポーツデー「モルック大会」開催しました

今年は、これまでの体育大会に代わるイベントとしてフィンランド発祥のスポーツ交流大会「モルック大会」を開催しました。当日は、16チームの参加で白熱の対戦が繰り広げられました。

〈多伎町体育協会事業〉



10月21日(土)

## らいふあっぶ講座 羊毛フェルト体験

講師：NPO法人ノームの糸車の皆さん



来年の干支 辰を羊毛フェルトで作成しました。早いもので6年続けて開催し、十二支の半分までできました。〈文化部事業〉



9月13日(水)、14日(木)

## JR列車通学生マナーアップ運動

多伎地区青少年育成協議会役員と多伎地区青パト隊員および少年補導委員の協力で、JR小田駅と田儀駅において、登校する高校生を元気なあいさつで送り出しました。



〈多伎地区青少年育成協議会〉

10月13日(金)

## 特殊詐欺被害防止 キャンペーン啓発活動

年金の支給日にあわせ、ATMを使った詐欺被害にあわないようラピタへ来店の方に声掛けをしました。

〈多伎地区青パト隊〉







写真提供：磯田泰弘氏

## 多伎町へ コウノトリ飛来!!

9月上旬に2~3日の間、奥田儀地内にコウノトリ(識別コードJ0633)が飛来していました。このコウノトリは、今年の4月に兵庫県コウノトリの郷公園で孵化して放鳥された雄の鳥でした。コウノトリが飛来する素晴らしい自然環境のある多伎町で生活していることに幸せを感じるひと時でした。

## リチウムイオン電池からの火災にご注意を!

リチウムイオン電池は、モバイルバッテリー、スマートフォン、加熱式たばこ、ワイヤレスイヤホンなど「充電をして使う製品」に使われています。

この電池は、大きな圧力がかかると発煙・発火をする恐れがあり、燃えるごみとして捨てられた電池が、ごみ処理施設やごみ収集車などで火災を起こすケースも全国的に発生しています。正しく使い、正しく捨てることで火災を予防しましょう。

万が一発火した場合は、火花が出ているときには近寄らず、火花が出なくなってから消火器や大量の水で消火するとともに、119番通報してください。



捨てるときは!

- 出雲市役所本庁舎1階、専用回収箱へお入れください。
- 家電量販店などのリサイクル協力店にお問合せください。  
リサイクル協力店は「一般社団法人JBRC」のホームページで検索できます。



※一般社団法人JBRC

お問合せ / 出雲西消防署多伎分署 電話番号 86-2149

## 11月・12月・1月情報

11月	21	火	運営委員・専門部員合同研修
	22	水	シルバードライビングスクール 職員同和問題研修
	25	土	文化部歴史勉強会
	30	木	生活部 ヨガ教室
12月	1	金	交通安全県民の日
	3	日	まちづくり部 そば打ち道場
	4	月	職員同和問題研修
	5	火	自治協会役員会・文書配布
	6	水	センター長会
	10	日	多伎・湖陵コミセン 青少年部合同事業(湖陵)
1月	16	土	文化部 冬の寄せ植え
	20	水	文書配布
	28	木	仕事納め
	4	木	仕事始め
	5	金	文書配布 センター長会
	9	火	県民の日 自治協会役員会
	19	金	文書配布

## 多伎小学校 稲刈り体験

9月9日(土)に多伎小学校児童による稲刈り・ハデ干し体験活動を行いました。当日は天気にも恵まれ、児童、保護者合わせて参加者は8名でした。特に、ハデ干しは近年とても少なくなり、貴重な体験になったことと思います。楽しい思い出になったかな。



〈多伎小学校食農教育推進実行委員会〉

### ● コミセン年末年始休館のお知らせ ●

**12月29日(金)~1月3日(水)**

\*但し、貸館はいたします。使用(貸館)希望の方は、お早めに使用申請書をご提出ください。

コミセンだより  
次回発行

▶ **1月19日(金)**